

アサヒビール株式会社



東京2020大会開催期間中の交通緩和の取り組み

物資の移動は3割以上の分散・削減を目指す

～テレワークやフレックスを活用し、**人の移動の削減**も目指す～

▽物資（原材料や商品など）の移動に関わるもの

区分	検討中の取組み内容	目標
削減	<ul style="list-style-type: none">・東京港で受入している原材料（麦芽など）の一部や輸入商品（ワインなど）の大部分の受入時期を前倒し・輸入商品（ワインなど）の受入港を東京港以外へ変更	約6%の削減 (約9台/日)
分散	<ul style="list-style-type: none">・東京港から茨城工場へ搬入している原材料(麦芽など)、工場（茨城・神奈川）から都内配送センターの転送及び該当エリア内のお得意先様への配送をピーク時間帯以外へ変更	約29%の分散 (約42台/日)

▽人の移動に関わるもの

区分	取組み内容
削減	<ul style="list-style-type: none">・テレワーク推奨日の設定・夏季休暇含む年休の計画的取得の推進・出張時期の変更・TV会議の活用による出張回数の抑制
分散	<ul style="list-style-type: none">・モバイルワークによる直行または直帰型営業活動の推奨・半日休暇制度の推奨・フレックスの活用によるオフピーク通勤の推進